



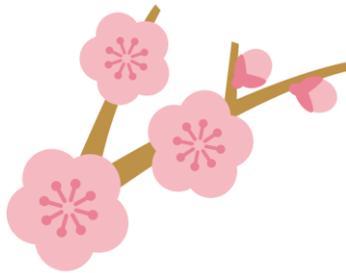
平岡北小学校だより

チーム
TEAM

ひらきた
平北

加古川市立平岡北小学校
校長 衣川 公彦
No.14 (不定期発行)
2026. 2.4 発行

『「節目」を越えて、次の一步へ』



今日、2026年2月4日(水)は、暦(こよみ)の上では春が始まる「立春(りっしゅん)」です。その前日である2月3日(火)の「節分(せつぶん)」には、多くのお家で豆まきをされたことと思います。

そもそも節分とは、文字の通り「季節を分ける」という意味があります。今みたいにエアコンも病院もなかった昔、「季節の変わり目」は、体調を崩しやすく病気が流行りやすい時期でした。そこに忍び寄る災いを「鬼」に見立てて追い払おうとしました。「鬼は外」という言葉には、「病気や弱気な心に負けず、健やかに新しい季節を迎えたい」という切実な願いが込められています。

さて、この節分という「節目(ふしめ)」を過ぎると、今の学年で過ごす日はあとわずか。6年生は卒業式まで、下級生は修了式まで、登校日は残り約30日となります。



この「30」という数字、皆さんはどう感じますか? 「まだ30日もある」と思うかもしれませんが、今の担任の先生、今のクラスの仲間と、同じ教室で机を並べて笑い合える時間は、実はもう残りわずかです。あと30日の間に、ぜひこんな「具体的なしめくくり」をしてみてください。



一つ目は、「ありがとう」を言葉にする。係活動を助けてくれた時、消しゴムを拾ってくれた時。照れくさくて言えなかった言葉を、今こそ伝えてみましょう。二つ目は「今のクラスだからできること」を全力でやってみる。全員で遊ぶなど。今のメンバーでしか作れない「最高の思い出」を残してください。三つ目は「次」への準備を整える。自分の机やロッカーを整えることは、次にその場所を使う後輩へのエールになります。

自分の中でしっかりとまとめをして、すっきりとした心で今の仲間との一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。